

2020年11月9日

世田谷区長
保坂 展人 様

日本共産党世田谷地区委員会
日本共産党世田谷区議団

年末にむけての緊急対策と新年度予算編成に対する申し入れ

コロナ禍から区民の命と暮らしを守るため、区長を先頭に職員の方々が全力で職務を遂行されておられますことに、心から敬意を表します。

東京等で感染者数が増加し、冬に向けてのヨーロッパのような感染拡大再燃が危惧されています。当面、感染拡大抑止と経済活動の両立の強化策、更に長期化するコロナ禍から区民の暮らしを守る対策充実が求められます。

この間、事業とくらしの深刻さが増しています。特に、商店街及びフリーランス・個人事業主からは、安心して年を越せる、年度を越せる緊急対策を求める切実な声が寄せられています。区議団と日本共産党世田谷地区委員会は、10月末に特にその対応を求め、申し入れを行いました。

この間区は、政策方針で掲げる4つの方向性のもと、「世田谷区新型コロナウイルス感染症対策本部会議」における「有識者との意見交換会」等で、感染動向や社会的検査の今後の方向性また経済対策等々専門家交え、科学的・多面的な分析・検討を重ねてこられました。それらを踏まえ編成された第4次補正予算案での、区民生活と事業者を守るための積極的な予算付けを評価します。

更に区として、①区民・事業者の実態をつかむ努力②くらしや事業が継続出来る支援の強化③困窮者をいち早くキャッチし、支援に結びつける重層的仕組みづくり④セーフティネットの広報・体制強化を求めるものです。

また、区が率先して取り組む社会的検査は、地域や施設内の感染抑止のみならず、感染動向のモニタリング・分析を感染防止と経済活動の両面で生かすことが期待されます。今後も社会的検査と従来のPCR検査の着実な実施と拡充の予算と体制強化が必要です。合わせて医療機関また福祉分野等への継続的支援を求めるものです。

区長の、コロナ禍から区民の健康と命を守り抜くためのこの間の積極的取り組みを評価し、更にこの方向での年末に向けての緊急対策及び積極的な新年度予算編成を求め、各分野から寄せられた切実な要求にしっかり応えて頂きたいと、以下申し入れます。